

○協働ロボット導入研修が行なわれました。

(2018.12.4)

協働ロボットとは、安全柵なしで人の近くで人と一緒に安全に働くことのできるロボットです。



*これが今回導入された協働ロボットです。

- ・ UNIVERSAL ROBOTS (デンマーク製)
- ・ 多関節ロボット (6軸あり、人の腕と同じような動きができます)
- ・ 人や物に接触すると安全に止まるロボットです。
- ・ 今後いろいろなところで活躍が期待されています。



日本の代理店の方による導入研修の様子。(この日の担当者は、入社3年目の当大学の生産電気システム技術科修了一期生でした。ポリテクカレッジでは「このような実機を用いた実習が多く、それが今の仕事に大いに役立っている」とのことでした)



日本では、少子高齢化に伴い製造業における人手不足が深刻な問題となっています。協働ロボットは、その解決手段として現在最も注目されていて、特に製造業において導入が加速されています。

この日の研修は、「協働ロボットの機能安全に係る接近検出システム」を開発している生産系3科の学生に対して行なわれました。協働ロボット自体は人やモノに接触し、一定以上の力が加わると停止しますが、ロボットの先端部が顔や目にぶつかった場合には危険性があるため、開発中のシステムは、実際にぶつかる前に人やモノを検出し、減速や停止信号を出すためのシステムです。この協働ロボットは、その開発したシステムと連動して検証するため導入されました。